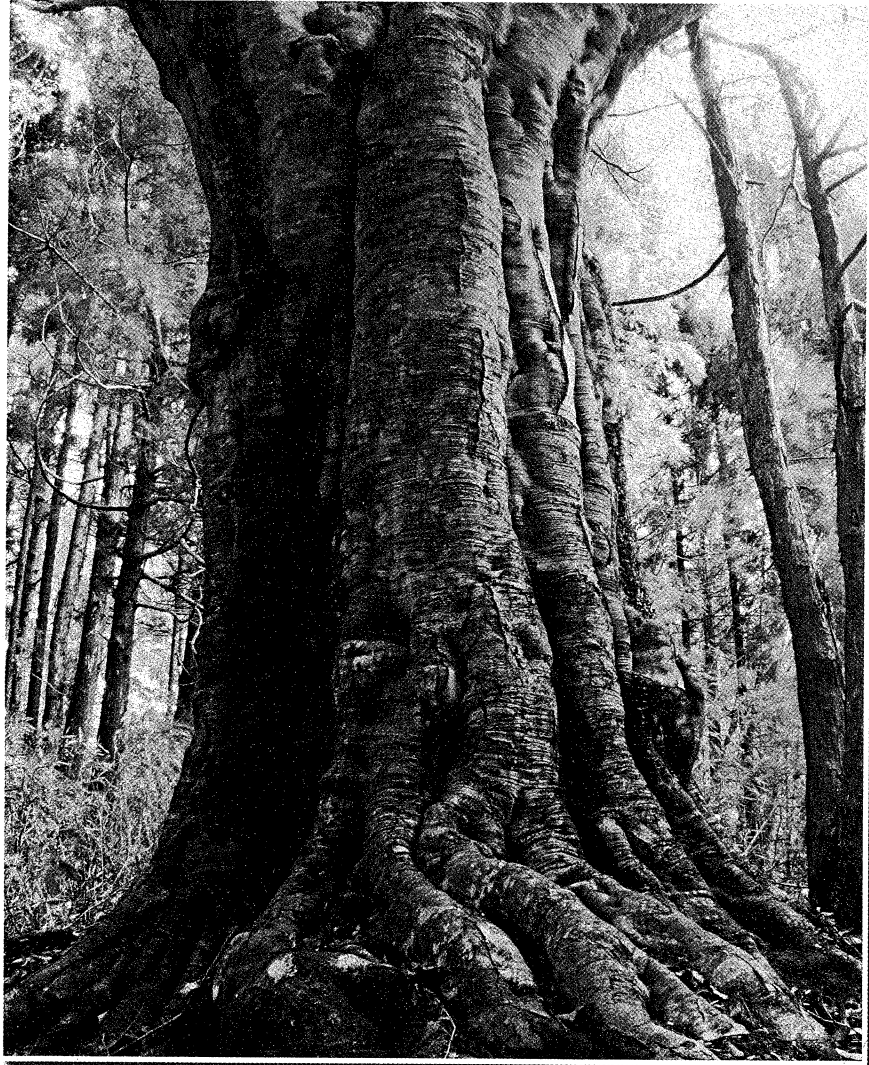


社民党

渡辺みのる通信

● 第9号 ●

発行日/2009年(平成21)11月(9月議会号)
発行/渡辺みのる後援会
石川町大字北山形字引地1
電話&FAX 0247-26-6994
携帯 090-2798-0434



写真説明 石川町大字板橋字柿ノ木平にあるブナの巨木で、周囲4.7メートルの太さ、県内でも有数の大きさです。
中田の二本ブナと共にかつては、この辺一体にも、ブナが生い茂っていたことの証です。数百年の時代を見つめてきたこの巨木は圧巻です。

この冬も インフルエンザに負けないように

9月議会で、20年度決算を認定

今年の稲作は、夏の冷夏や雨に、心配させられましたが、秋になって好天が続き、平年作まで持ち直してきています。

取り入れも順調に進み、ほっとしているところではないでしょうか。

9月議会では、「22年度の町政運営の方針について」と「町情報の公表について」、「第3期中山間地域等直接支払事業の取り組みについて」町の考え方を質問しました。

また、20年度の決算を審議し、認定しました。

1億8千万円の黒字決算で、21年度の収入となりました。

新型インフルエンザが流行の兆しを見せて

いますので、体調管理を万全にし、元気で厳しい冬を乗り切りましょう。



北海道の栗山町を視察

歴史のつながりに、驚きと感謝

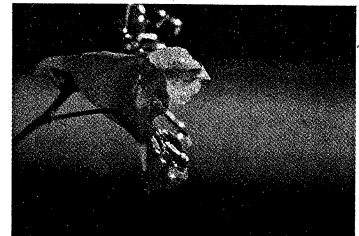
9月28日から10月1日まで、栗山町に議員の視察研修で行ってきました。

同町は、現在議会改革で、日本で一番先頭を走っており、全国から多くの視察者が訪れています。その実践に学び、本町に生かしたい思いで参加しました。議会の取り組みをお聞きし、議会と町民の結びつきの深さに驚かされました。

また、福祉や図書館、農業などの分野でも、素晴らしい行政を行っています。

栗山町は、宮城県角田市を通じて、本町とは親戚筋にあたる町です。

当時の開拓者代表の泉さん居宅保存や民俗資料収集など、歴史を大切にする姿勢に感動させられました。



秋の野草 ツリフネソウ

9月議会の一般質問から

渡辺：財政好転の要因は
町：職員数の大幅減であり、
職員に感謝

- 質問** 町の来年度の運営方針は。
- 答弁** 町第5次総合計画の6プロジェクト実現のため、重点施策を策定します。
- 質問** 雇用が厳しいので、町独自の雇用対策はできないか。
- 答弁** 今具体的にないが検討します。
- 質問** 町の財政が好転した要因を伺います。
- 答弁** 大幅な職員数の減であり、職員には感謝しています。
- 質問** 又、同じことを繰り返さないために、財政悪化の原因を分析する必要があるが、その考えは。
- 答弁** 以前の問題にも考慮します。

渡辺：財政資料の公表を
町：貸借対照表、
行政コスト計算書等は年度内に

- 質問** 町情報の公表は、町民の持っている権利(条例の制定及び改廃権、町長や議員の解職請求権など)が生かされるためと町民がまちづくりの主役になるために必要なことです。その考えは。
- 答弁** 町情報は積極的に公表していきます。



10月4日、秋晴れの中、地域の人々と共に大きな盛り上がりとなった石川共生園(塩沢字割田作)の共生祭

7月臨時議会で9億9千万円増の補正予算を可決
学校耐震改修工事に5億4千万円を計上

7月28日の臨時議会で、国の経済対策に対応して、総額9億9千万円増の大型補正予算を可決しました。内容は母畑小及び石川小屋体、石川中校舎の耐震改修工事、パソコン購入ほか教育費に6億2千万円、光ファイバー敷設工事に2億円、道路新設改良費に1億円、特産品開発に6百万円、直播機購入に5百万円などです。

引き続き総務産業建設常任委員会に所属

9月議会で、常任委員会及び議会運営委員会、議会広報特別委員会の構成替えがありました。渡辺議員は、引き続き総務産業建設常任委員会に所属し、副委員長に就任しました。又、議会広報特別委員会と議会運営委員会の委員にもなりました。

これで良いのか! 日本の貧困率15.7%
世界第4位の悪さ
子ども貧困率は14%

10月20日、長妻厚労相は低所得者の占める割合を示す「貧困率」を公表しました。07年の数字で15.7%、実に国民の6.7人に1人が貧困と言うこととなります。

貧困率は、年所得が全国民の所得の真ん中の所得の半分に満たない国民の割合を示すものです。かつて、日本は1億総中流といわれましたが今や、貧富の格差の大きい国であることを示しています。

経済協力機構(OECD)は08年の報告で、日本の貧困率はメキシコ、トルコ、アメリカに次いで世界第4位と発表しました。世界で4番目に貧富格差の大きい国ということになります。

さらに深刻なのは、上昇続ける子ども貧困率です。04年の数字では14%で、7人に1人が貧困の子どもということになります。子どもの貧困は「将来の可能性」を摘み取りかねません。進学率、学力、健康、非行、就職など不利であり、そして、貧困の次世代への連鎖も否定できません。

貧困(格差)は個人の問題ではなく、社会の仕組みの問題です。政治で解決できる問題であり、今の日本で、最も解決しなければならない課題の一つです。

- 質問** 公表が義務づけられている情報の公表状況は。
- 答弁** 財政情報や人事行政等の運営状況などは広報紙やホームページで公表しています。又、小中学校の耐震診断結果や都市計画案などは随時公表しています。
- 質問** 工事の発注予定や入札結果をホームページで公表できないか。
- 答弁** 検討します。
- 質問** 町会計の制度改正が迫っているが考えを伺います。
- 答弁** 複式簿記、発生主義の考え方の導入を図り、貸借対照表や行政コスト計算書等の公表が要請されています。年度内に整備し、公表したい。
- 質問** 予算や決算審議で、議員に配布される情報を町民に公表できないか。
- 答弁** 検討します。
- 質問** 町の長期計画や随意契約、委託契約の公表はできないか伺います。
- 答弁** 検討したい。
- 質問** 公表する基準を作成する考えを伺います。
- 答弁** 十分検討します。



キヌガサソウです。7月に登った火打山(新潟県)の7合目の沼のほとりに咲いていました。

2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める請願が採択

福島県教職員組合石川支部から提出。採択し、意見書を総務大臣、文部科学大臣ほかに送付しました。

一般質問
から

**渡辺：来年4月からの第3期中山間地域等直接支払い事業の
全町的取り組みを
町：積極的に進めます。**

質問 来年4月から中山間地域等直接支払事業が第3期目に入ります。1期と2期の成果と課題を伺います。

答弁 平成12年から5年間で第1期で、41集落が参加し、年間1千590万円が交付、第2期は次の5年間で、32集落が参加し、年間2千598万円が交付され、農道や水路維持、共同機械の購入などに利用されています。

質問 また、農地・水・環境保全向上対策事業の成果と課題を伺います。

答弁 平成19年度からスタートし、11組織が取り組み、年間3千251万円が交付され、農道の草刈り、水路の清掃、景観を守る活動に利用されています。

質問 中山間地域等直接支払事業は10年間で約3億円、農地・水・環境事業では3年間で約1億円が交付されています。取り組んでいる地域とそうでない地域では違いが出てきているのではないかと。町全域で取り組めるようにできないか。

答弁 取り組んでいるところは、連帯感が強くなったり、集落活性化につながっています。積極的に取り組んでいきたいと考えています。

質問 該当する町内全地域に網をかけ、取り組むということですか。

答弁 今申し上げたとおりです。

——— 中山間地域等直接支払事業とは ———

国が平成12年度から始めた事業で、耕作放棄地の解消や農業の多面的機能の維持、担い手の育成を図るため、農業生産条件の不利な中山間地域に交付金を交付する制度です。



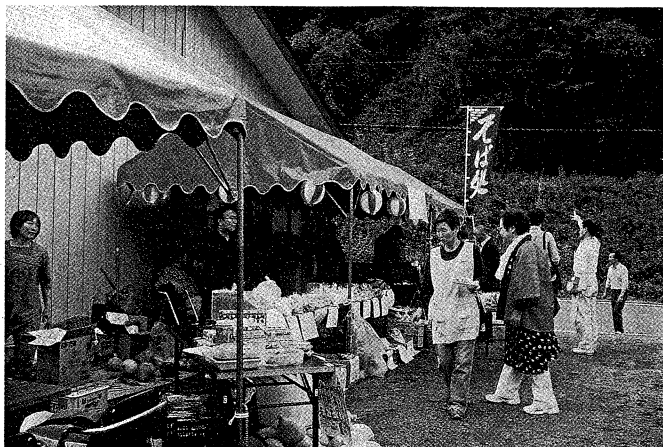
8月1日に開催された特老さくら荘の花火大会

ニンニク栽培に
大きな関心

来年の収穫に大きな期待

前第8号での「ニンニク栽培」の記事に多くの方から、問い合わせや感想をいただきました。関心を持っていただきましたことに感謝いたします。

尚、その中で、実際にグループで栽培したいと、講習会を開催したところもありました。来年にはたくさん収穫されることを期待しております。



今年で11回目を迎えた板仲ミニ収穫祭、おやめ祭りとともにみなさんの頑張りに元気をもらいます。

教育委員に 大竹則幸さん

人権擁護委員に 阿部文子さん、鈴木絃一さん

教育委員に大竹則幸さんを任命することに同意し、人権擁護委員に阿部文子さんと鈴木絃一さんの推薦を適任としました。

大竹さんは中田、阿部さんは双里、鈴木さんは塩沢にお住まいの方です。

子どもたちのために ⑧ どうして、統廃合なのか？

全国的に、小学校の統廃合が進んでいる。その理由に「複式学級の解消」があるという。複式学級がマイナスイメージで語られるようになったのはいつ頃からだろうか。

学級の人数は法律で決められている。子どもの数が40人までなら1学級、41人以上になると2学級、隣接学年と合わせて16人だと複式学級になる。現在福島県では、県独自に学級の人数を減らして、一人ひとりの子どもたちがよりよい教育が受けられるようにしている。

しかし、国の決めた学級定数が変わらないままなので、県は独自の財源を確保して実施せざるをえないし、複式学級はそのままだ。

現在の定数法が、30人程度や複式学級の人数が12人程度に改善されれば、子どもたちに手厚い指導ができ、自治体の教育予算をもっと効果的に使うことができる。更に、国が義務教育費を負担する割合を2分の1に還元すれば(現在は国負担が3分の1)、保護者の負担も減る。

学校統廃合を語るとき、保護者や地域、教職員が協力し合って、定数法や国負担還元を求めていく取り組みも重要だと思う。教育は子どもの一生に関わる大切なものだし、一度なくしてしまうと地域の学校はもどらないから。

(K.H)

平成20年度
決算状況

一般会計で1億8千万円の黒字、特別会計も黒字決算

国からの交付税と支出金が伸び、借金返済が減る

9月議会は、決算議会とも言われ、前年度の決算状況を審査することが大きな役割となっています。

町の20年度決算の状況は、一般会計及び9つある特別会計すべてで黒字決算となり、財政状況も良くなりつつあります。

一般会計では、収入が前年度より0.9%増加し、支出では5.3%減額で、1億8千万円の黒字となりました。

収入の伸びた原因は、国の経済対策によるもの大きく、地方交付税で1億5千万円、国庫支出金で4億3千万円増となっています。支出では、借金返済金で6億5千万円、衛生費で2億4千万円の減となった反面、民生費で3億4千万円の増、土木費で8千万円の増となっています。

財政は年々改善の兆し

なお、厳しい状態が続く

	17年度	19年度	20年度
財政力指数	0.428	0.439	0.435
実質公債比率	22.0	22.5	20.5
経常収支比率	91.2	89.4	84.0

財政力指数とは、税収を中心とする財源の豊かさ指数。数字が高いほど、歳出を税によりまかなえる力が強いことを示す。

実質公債比率とは、一般会計の公債費(返済)の負担度を表す指標。18%を超えると起債の許可市町村、25%を超えると起債制限市町村となる。

経常収支比率とは、財政の硬直化を表す指標。高いほど財政が硬直化し、財政に余裕がないことを表す。70~80以下が望ましいとされている。

●石川町と親戚関係にある●

北海道栗山町の紹介

北海道のほぼ中央に位置し、緩やかな丘陵地帯にあり人口13,871人。田畑が30%を占め、農業と第3次産業就業56%の町です。千歳空港及び札幌市から車で1時間、JR室蘭線が通っており、町中に栗山駅があります。

また、国蝶オオムラサキが生息する雄大な自然豊かな町です。石川町との関係は、町の成り立ちにあります。



保存されている泉麟太郎居宅、隣接して開拓記念館が建設されています。

栗山町は明治21年に宮城県角田藩士の泉麟太郎が夕張開墾起業組合を設立し、アノロ川右岸のこの地に24名と共に入植したことに始まります。

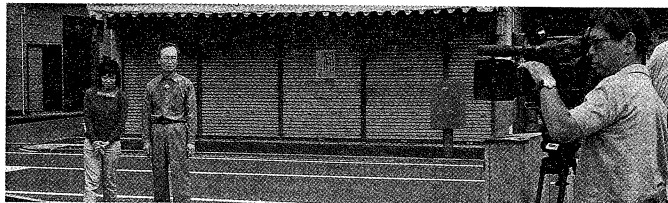
平成20年度末地方債残高 単位:千円

	20年度	19年度	11年度
地方債残高	5,125,109	5,574,031	8,225,473

10年前の11年度末残高82億2千万円と比して、大幅に減少。

この決算に対する監査委員の意見は

「…一般会計では183,956千円の黒字決算となり、各特別会計においても、それぞれ黒字決算となっている。平成20年度経常収支比率は84.0%と、年々改善されているが、財政措置の弾力性をみる上での目安とされている80%を越えており、引き続き厳しい状況が続いている…」と述べています。



9月27日、福島中央テレビで放映された「ふくしまの自由民権」の石川町南町での撮影風景

奨学資金貸与基金の運用状況は

単位:千円

	前年度末現在高	20年度中増減	20年度末現在高
貸付金	21,933	△2,840	19,093
現金	4,637	26,270	30,907
計	26,570	23,430	50,000

一般会計より23,430千円を繰り入れ、50,000千円とした。20年度の貸付けは6人、償置は22人でした。

はじめ、角田村と称し、明治・大正・昭和と炭坑と共に発展してきました。昭和24年に栗山町と改名しました。

栗山とはアイヌ語の「ヤム・ニ・ウシ」に由来、栗の木の繁茂するところという意味です。

初代村長でもあった泉麟太郎は、豊臣秀吉によって、石川の三芦城を追われ、角田城主となった石川昭光に従って角田に移り住んだ家臣、泉家の子孫です。

栗山町は町営バスの運行、老人ホームや介護福祉学校、図書館など福祉文化に力を注いでいます。

また、議会の改革を、全国に先駆けて行っています。議会基本条例を制定し、地方分権時代にふさわしい議会運営をめざしています。更に、現鳩山首相のゆかりの町でもあります。



町立の図書館。蔵書16万冊、職員8名